

令和2年 静岡県内の公共土木施設被害 ～政令市及び市町含む～ 土木防災課所管

【概況】

7月3日から12日の梅雨前線豪雨をはじめ6回の異常気象で県、政令市及び市町が管理している河川、道路等の公共土木施設(国土交通省水管理・国土保全局所管(港湾・漁港・公園除く))が被害を受けた。昨年12月までに国による災害査定が実施され、19市町、69件、約29億1千万円の査定決定を受けた。このうち、7月の梅雨前線豪雨による公共土木施設災害は66件、約26億7千万円であった。

【表1】

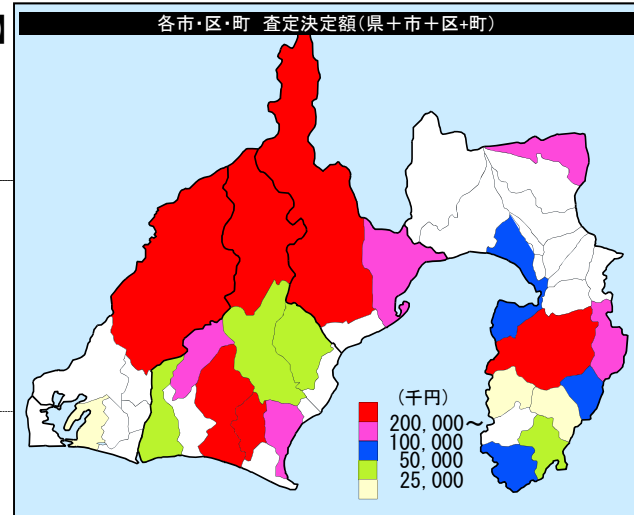
令和2年発生災害 査定結果集計(工種別)						
工種	県		市町		県+市町合計	
	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
河川	18	885,186	2	31,456	20	916,642
海岸						
砂防						
地すべり						
急傾斜						
道路	23	1,068,766	12	257,698	35	1,326,464
橋梁						
下水道						
合計	41	1,953,952	14	289,154	55	2,243,106

政令市						
工種	静岡市		浜松市		政令市合計	
	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
河川						
海岸						
砂防						
地すべり						
急傾斜						
道路	6	398,869	8	270,796	14	669,665
橋梁						
下水道						
合計	6	398,869	8	270,796	14	669,665

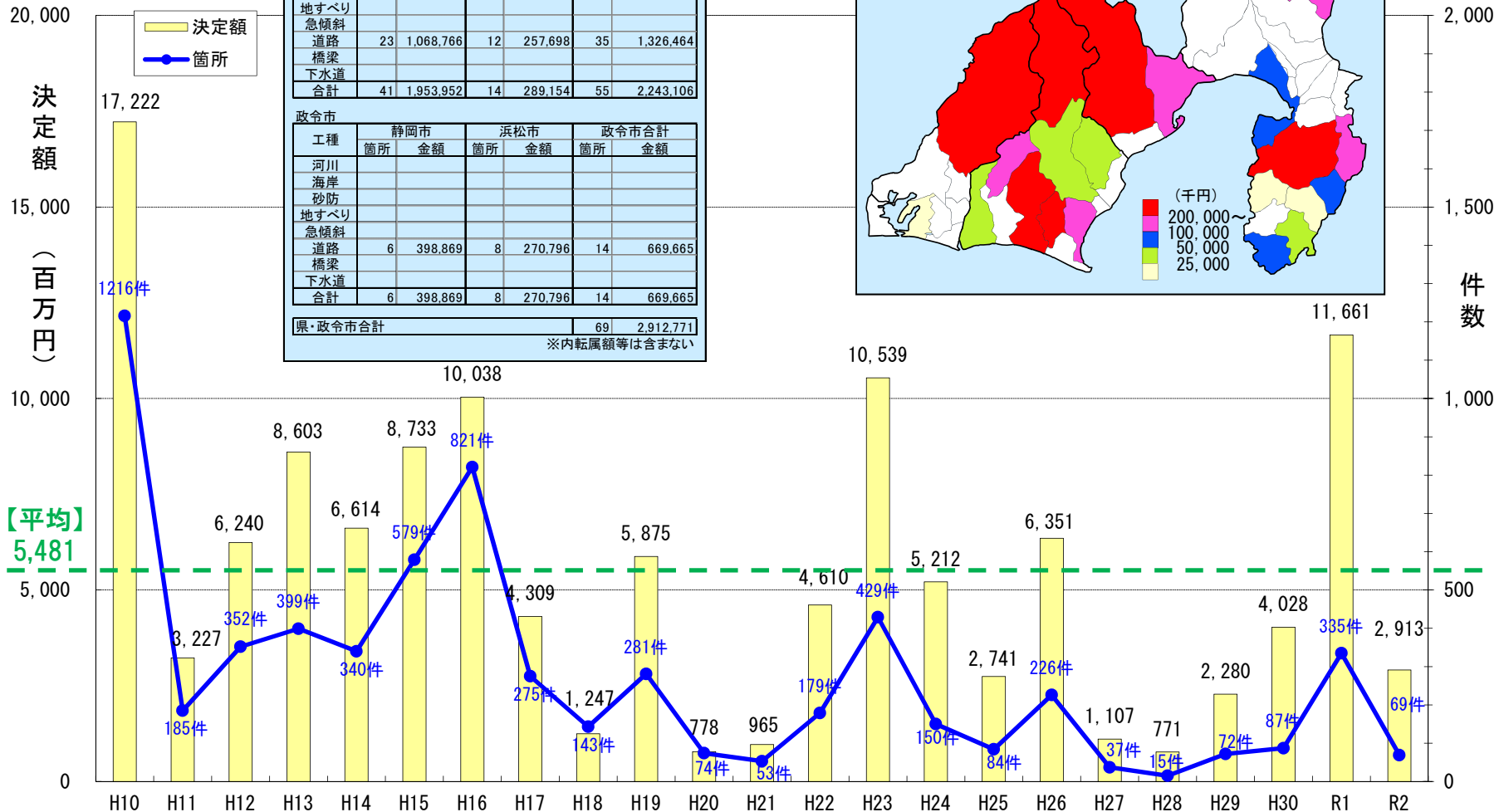
県・政令市合計	
箇所	69
金額	2,912,771

※内転属額等は含まない

【表2】



【表3】



令和2年 静岡県内の主な公共土木施設被害の状況～政令市及び市町含む～ 土木防災課所管

【社会的影響が大きかった災害「令和2年7月梅雨前線豪雨」】

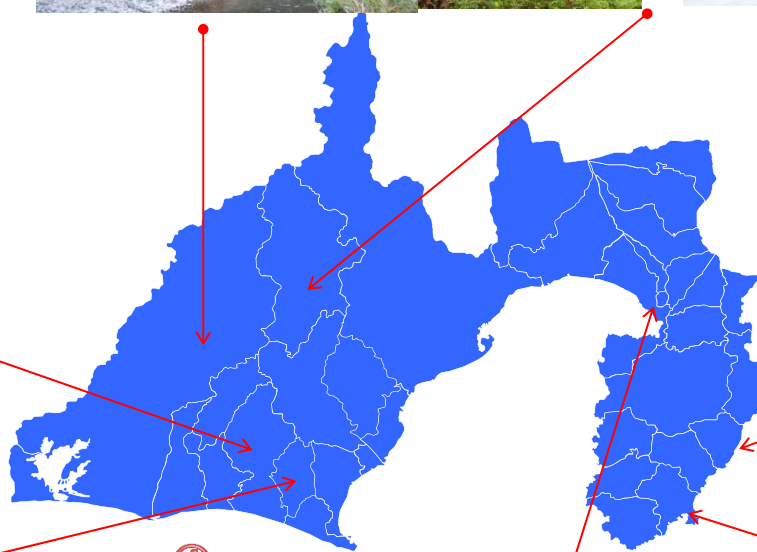
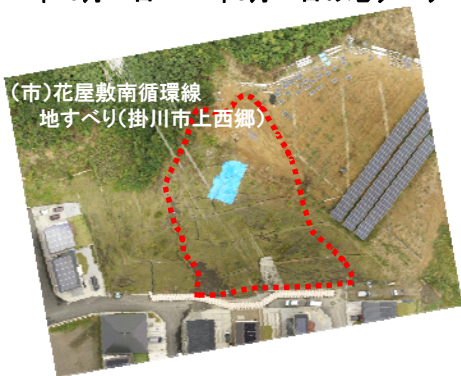
この期間、梅雨前線が東・西日本付近に停滞したため、曇りや雨の日が多くなった。本州付近には湿った空気が流れ込みやすく、梅雨前線が停滞し続けたため、長期間にわたって大雨となった。7月の「月降水量」は、低気圧や前線の影響で、全地点で平年より「かなり多い」となり、三島と石廊崎では、統計開始以降多い方から第2位の記録となった。

	被災月日	被害原因	査定決定件数
①	1.10.11～ 2.5.11	地すべり	1
②	6.30～7.1	梅雨前線豪雨	7
③	7.3～12	梅雨前線豪雨	30
④	7.17～19	梅雨前線豪雨	6
⑤	7.24～28	梅雨前線豪雨	23
⑥	10.9～10	台風第 14号	2
	計	6回	69

③ 7月3日～12日の梅雨前線豪雨



① R1年10月11日～R2年5月11日の地すべり



⑤ 7月24日～28日の梅雨前線豪雨



④ 7月17日～19日の梅雨前線豪雨

